

佐伯城南中学校の1学期を振り返って

【アンケート結果の考察】

アンケートにご協力ありがとうございました。この結果をもとに、2学期・3学期・次年度への学校経営の貴重なご意見とさせていただきます。

《全体的な傾向》

抜粋

項目	生徒（肯定%）	保護者（肯定%）	教職員（肯定%）
○授業はわかりやすい…	86	91	88
○家庭学習の様子（充実度・1時間以上）	85	64	19
○学校行事や各種活動に積極的に参加	91	97	100
○学校は楽しい	86	91	100
○場に応じたあいさつができています	91	82	38
○学校のきまりを守っている	92	92	82
○生徒理解	82	93	88
○思いやりをもっている	92	91	44

《平成27年度と比べて、大きくポイントが上回った項目》

項目	平成27年度	平成28年7月	+値	
生徒 家庭学習は1時間以上している	74	85	+11	
保護者 授業をわかりやすく教えている	85	91	+6	
	家庭学習は1時間以上している	60	64	+4
	担任は子どものことをよく理解している。	90	93	+3
職員 生徒達は楽しく学校生活をおくっている。	95	100	+5	
	食に関する指導をしている	29	50	+21

《平成27年度と比べて、大きくポイントが下回った項目》

項目	平成27年度	平成28年7月	-値	
生徒 学校は楽しい	88	86	-2	
	場に応じたあいさつができる	94	91	-3
	学校のきまりを守っている	94	92	-2
	担任は自分のことをよく理解している	85	82	-3
	自分は思いやりの心で接している	94	92	-2
保護者 場に応じたあいさつができる	86	82	-4	
	学校のきまりを守っている	95	92	-3
	生徒は思いやりの心で接している。	91	91	0
職員 授業をわかりやすく教える努力をしている。	95	88	-7	
	生徒の家庭学習は充実している。	43	19	-24
	場に応じたあいさつができる	77	38	-39
	学校のきまりを守っている	100	82	-18
	生徒は思いやりの心で接している。	71	44	-27

【学校生活】 「心優しくたくましい知性豊かな生徒の育成」を教育目標に掲げ、職員一同、明るく楽しい学校づくりに取り組んでまいりました。

各学年・学級、みんなで協力して、明るい学級づくりに取り組んできた成果が表れています。放課後や休憩時間を利用して、廊下や教室で積極的に声をかけ会話する先生や、放課後の部活動で共に汗を流す先生がいるなど、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めています。

また、教育相談も年数回実施したり、毎日の生活ノートを活用したりして、生徒の悩みを把握するように努めています。

今後とも、家庭との連携を密にし、気軽に相談できる学校を目指していきます。

学習面では、学年が上がるにつれて、「落ち着いた授業」ができるようになってきています。しかし、低学年でその割合が低くなる原因としては、学校生活に慣れてきたことや当面の進路等の目標もないこと、そして、特定の生徒の言動が、学級全体の集力をうばっていることが考えられます。

今年度は、大分県教育委員会より「学びに向かう学校づくり校」の指定を、また大分県音楽教育研究会の佐伯大会が本校で開催いたします。個別の指導や発言のルール、主体的な学びを拓くための指導を再確認し、落ち着いた学習を職員一同で推進してまいります。

【家庭生活】 これまで「家庭学習が習慣化されていない」との保護者の皆様からのご指摘がありましたが、今回も同様な結果でした。家庭学習の時間（塾を含む）を見ると、一人あたりの勉強時間は増えてきている傾向にあるものの、依然として全体としては低いままです。

今後も、適度な宿題を設定し、家庭での勉強時間が確保されるよう、保護者の協力を得ながら進めてまいります。

また、勉強時間確保の面からも、メディア教育を推進してまいります。

近年、家庭での会話が増える傾向にあります。職場体験学習や進路のことなど、事前に家庭で話し合う必要があることについては、早めにお知らせしています。

【全 体】 平成28年10月には、大分県音楽教育研究大会を本校で開催いたします。

明るく素直な佐伯城南中生が、自分の考えや思いを語り、仲間とかかわりながら問題を解決していく姿を見せられるよう研究しています。

また、このアンケートの結果を参考にさせていただき、これからの学校教育方針を考えさせていただきます。ご協力に感謝申し上げます。

8月8日（月） 「学びに向かう学校」づくり中核校生徒連絡協議会での発表の様子
別府ビーコンプラザにて

